

2019年9月吉日

講演会「渋沢栄一と鈴木文治・友愛会」のお知らせ

友愛労働歴史館は現在、企画展「協調会結成100年—渋沢栄一と鈴木文治・友愛会—」(2019.7.4~12.24)を開催中ですが、関連企画として11月6日に講演会「渋沢栄一と鈴木文治・友愛会」を開催します。講師は渋沢史料館の井上淳館長。



「日本資本主義の父」・渋沢栄一(1840~1931)は、「実業家。第一国立銀行を経営、製紙・紡績・保険・運輸・鉄道など多くの企業設立に関与、財界の大御所として活躍」(広辞苑)した人。実業界引退後(1916年・77歳)、「老後の三大事業」として「経済と道徳の一致」「資本と労働の調和」「細民救恤手段の統一」の活動に取り組みます。その「資本と労働の調和」を具体化したのが1919(大正8)年の協調会設立です。



しかし、渋沢栄一と鈴木文治・友愛会の関係は1915(大正4)年、米国カ州で起きていた日本移民排斥運動を契機に生まれています。今回の講演会では井上淳館長より渋沢栄一と鈴木文治・友愛会の関係について報告を受けます。

記

と き 2019年11月6日(水)14時~16時

ところ 友愛労働歴史館・研修室(友愛会館8階)

テーマ 「渋沢栄一と鈴木文治・友愛会」

講 師 井上 潤 渋沢史料館館長

その他 友愛労働歴史館と労使関係研究協会の共催。申し込みはEメールで

以上

友愛労働歴史館 〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館8階

Tel.050-3473-5325 Fax03-3451-1710 Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org